

武士の暮らしと鎌倉文化

今日の問い

鎌倉時代の人々はどのように暮らし、どんな文化や仏教が生まれたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 武士の暮らしと産業はどうだったか。

分割相続・二毛作・定期市

武士は館に住み武芸にはげみ、領地は一族で分ける ¹ 分割相続 が行われた。西日本を中心に ² 二毛作 が広まり、牛や馬、鉄製の農具も使われた。寺社の門前などでは月に数回 ³ 定期市 が開かれ、⁴ 宋銭 が使われた。

2 どんな文化や仏教の教えが生まれたか。

金剛力士像・新しい仏教

東大寺南大門の ⁵ 金剛力士像 は運慶・快慶らがつくった。源平の戦いをえがいた ⁶ 平家物語 は ⁷ 琵琶法師 が語り広め、随筆の方丈記や ⁸ 徒然草 も書かれた。念仏を説いた ⁹ 法然 の浄土宗など、信仰しやすい新しい仏教の宗派も広まった。

まとめ

今日の問いに答えよう。「二毛作」「新しい仏教」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)西日本を中心に二毛作が広まり、定期市では宋銭が使われた。武士の世には金剛力士像のような力強い文化が生まれ、浄土宗などわかりやすい新しい仏教が武士や民衆に広まった。

